

# 平成18年度 (平成18年9月30日現在)

## 上半期財政状況の公表

市では、毎年2回、上半期(4月～9月)と下半期(10月～3月)に分けて、その会計年度の財政状況を公表しています。これは、皆さんから税金として納めていただいた大切なお金などが、どのように使われたのかをお知らせするものです。

今回は、平成18年9月30日現在の平成18年度上半期の一般会計、特別会計、上水道事業会計(企業会計)の予算執行状況のほか、市債(市の借入金)の現在高などについてお知らせします。

### 一般会計の予算執行状況

9月30日現在の平成18年度一般会計予算現額は、237億145万8千円です。この予算現額に対する収入済額は、129億6,021万4千円(収入率54.7%)、支出済額は112億7,098万5千円(執行率47.6%)となっています。

歳入では、皆さんから納めていただいた市税を始め、貸付金収入等の諸収入、市債や国から交付される国庫支出金などが大きな割合を占めています。

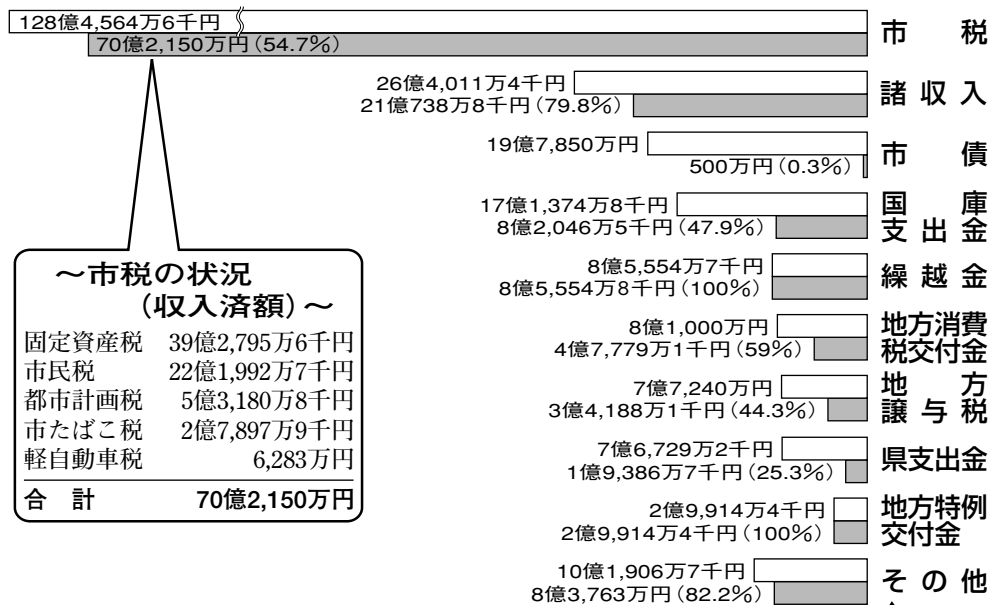
歳出では、児童、高齢者や障害のある方などへの支援にかかる民生費、道路や排水路、公園などの整備にかかる土木費が大きな割合を占めています。

☎ 財政課 ☎ 内 306

### 歳入

予算現額合計 237億145万8千円  
収入済額合計 129億6,021万4千円  
収入率 54.7%

( )内の%は予算現額に対する収入率



#### ～市税の状況 (収入済額)～

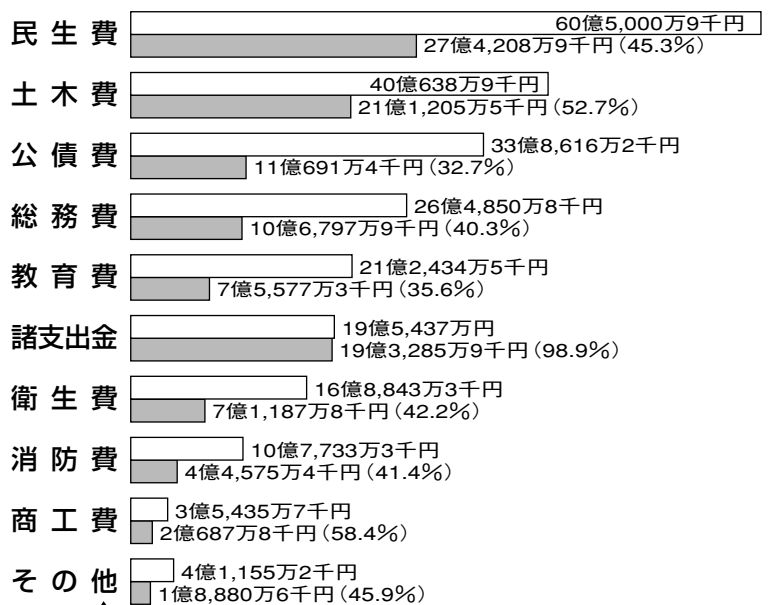
固定資産税	39億2,795万6千円
市民税	22億1,992万7千円
都市計画税	5億3,180万8千円
市たばこ税	2億7,897万9千円
軽自動車税	6,283万円
合 計	70億2,150万円

その他には、繰入金、地方交付税、分担金および負担金、使用料および手数料、自動車取得税交付金、利子割交付金、財産収入、配当割交付金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金、寄附金が含まれます。

### 歳出

予算現額合計 237億145万8千円  
支出済額合計 112億7,098万5千円  
執行率 47.6%

( )内の%は予算現額に対する執行率



その他には、議会費や農林水産業費、労働費および予備費が含まれます。

### 市民の皆さんの市税負担と歳出状況(年間)

市民一人当たりの市税年間負担額 **16万4,855円**

128億4,564万6千円 (市税予算現額合計)

÷77,921人

(平成18年9月30日現在の人口)

市民一人当たりの歳出予算額 **30万4,173円**

237億145万8千円 (予算現額合計)

÷77,921人

(平成18年9月30日現在の人口)

#### 市民一人当たりの歳出予算額内訳

民生費	77,643円	土木費	51,416円
公債費	43,456円	総務費	33,990円
教育費	27,263円	諸支出金	25,081円
衛生費	21,669円	消費税	13,826円
商工費	4,548円	その他	5,281円

### 特別会計および企業会計

(単位:千円、%)

区 分	予算現額	収入済額	収入率
		支出済額	執行率
国民健康保険	8,925,319	3,543,111	39.7
公共下水道事業	3,960,193	1,454,245	36.7
老人保健	3,554,805	1,506,306	42.4
稲荷伊草第二土地 区画整理事業	189,480	174,153	91.9
鶴ヶ曾根・二丁目土地 区画整理事業	276,065	225,848	81.8
大瀬古新田土地 区画整理事業	675,820	410,091	60.7
西袋上馬場土地 区画整理事業	268,191	142,197	53.0
八潮南部東一体型特定 土地区画整理事業	2,347,488	232,351	9.9
介護保険	2,168,904	268,543	11.4
		1,051,500	48.5
		786,047	36.2
上水道事業	予算額	収入済額	収入率
収益的収入	1,952,416	949,512	48.6
収益的支出	1,744,599	796,475	45.7
資本的収入	1,149,971	114,762	10.0
資本的支出	1,916,422	255,431	13.3

### 地方債(市債)の現在高

9月30日現在の一般会計における地方債(市債)残高は、291億1,845万6千円です。市債の残高のうち最も大きな割合を占めているのは土木債です。主なものは、道路、排水路の整備や区画整理事業の財源として借り入れたものや、つくばエクスプレス建設のための出資金や貸付金の財源の一部として借り入れたものです。鶴ヶ曾根体育館(エイトアリーナ)、学校体育館や図書館・公民館など教育施設の建設に要するために借り入れた教育債も大きな割合を占めています。

また、近年の地方財政の財源不足を補うために、特例として発行が認められている特例地方債も大きな割合を占めています。

このように、地方債(市債)は、公共施設を整備する場合など、一時的に多額の費用がかかるときに金融機関などから借り入れる資金で、長期間にわたって返済することにより毎年の財政負担をならし、世代間の公平な負担を図っていくために使われています。

(単位:千円)

一般会計	291,118,456
土木債	14,899,079
特例地方債(臨時財政対策債等)	7,475,651
教育債	3,771,229
民生債	1,164,930
その他の市債	1,807,567
特別会計	26,125,620
公共下水道事業	19,854,838
大瀬古新田土地区画整理事業	1,016,160
西袋上馬場土地区画整理事業	401,732
八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	4,852,890
上水道事業会計(企業会計)	3,183,830
合 計	58,427,906